

令和５年度第２回総合交流施設建設を更に推進する会 議事録

日時：令和５年３月１日（月）１８：３０～

場所：役場２階会議室

１ 開 会

２ 議 事

（１）建設候補地について

（２）建設規模について

（３）地質調査について

（４）その他

○事務局

予定時刻の２分前ではありますが、本日出席予定の皆さんがお揃いですので、始めたいと思います。

ただいまより、第２回「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会」を始めます。

町長から委嘱状の交付をしまして、会長に古村英次郎さん、副会長に徳田英輔さんに決まりました。では、早速ですが古村会長のあいさつをお願いします。

【会長あいさつ】

○会長

こんばんは。前回、出席していただけなかった委員の皆さんもいらっしゃるので、顔合わせと自分の意見を出しながら進めていきたいと思います。

皆さんも忌憚なく意見を出していただいて、より良いものを作っていきたいと思います。ご協力をお願いします。

○事務局

前回の内容としましては、自己紹介と今までの経緯を紹介して場所を図面から、どこに建てるか、それと規模について、バレーコートを何面にするか、サブフロアの有無について、次回までに各自で検討するようにと伝えたところでした。

本協議会は 設置要綱第６条第２項で、「会議は委員の過半数が出席しなければ開くこと

ができない」となっております。定員数 10 名のうち、9 名が参加、1 名委任状ですので、会議が成立することをお伝えします。

早速ですが、協議に入りたいと思います。古村会長、よろしくお願いします。

○会長 前回、いらっしゃらなかった方は、資料とか見てもらってるんですか。

○事務局

欠席者には、議事録と資料をお渡しして、皆さんには、簡単に説明はしております。

○会長

では、前回欠席者の皆さんに自己紹介とごあいさつをお願いしたいと思います。前回皆さんしたので・・・では、新納さんからお願いします。

○委員

こんばんは。NPO 法人スマッピー代表の新納佳恵です。子育て支援に関わることを始めていて、（推進する会に）呼ばれたので、参加させていただきました。

よろしくお願いします。

○委員

元気！わどまりクラブでクラブマネージャーをしております、中野譲と申します。元気！わどまりクラブ総合型地域スポーツクラブということで、子どもから高齢者までが生涯を通じてスポーツを楽しむということをモットーに動いておりますので、子どもから高齢者までが使いやすい施設のことを考えながら皆さんと協議していけたら良いなあと考えております。よろしくお願いします。

○委員

こんばんは、川添です。前回から徳田さんと建設に携わって、協議会でも話をしておりますけど、できればこの会が最後の会にしてほしいと思って話があったときに、協力しますと話をしました。

私は思っていることを言う派なので、あまり気に留めないでくれて良いので、よろしくお願いします。

○会長

ありがとうございました。

今日の進め方としては、ざっくばらんに意見を貰う感じで良いですか。

○事務局

はい。(ホワイトボードに)地図がありますので、皆さんにどこが良いと話してもらって、それについてメリット、デメリットを皆さんで考えていきたいと思います。

○会長

前回不参加だった方は、議事録を読んでいただいているということで、前回の会の内容は、判っていると思いますので、前回から気づいた点があれば、一言ずついただければと思います。

○委員

基本計画での一番大事なのは、規模だと思うんですよ。規模が決まれば、候補地も絞られてくると思うんですよ。

私は、バレーボールコート3面だと運営的には厳しいと思います。最低でも4面の計画を立ててもらわないと、運営としては難しいと思います。

もちろん、参加チームに苦勞してもらって、移動してもらえば良いでしょうけど、理想は、一会場で運営も試合もできた方が良い。

そこからの付随した施設をどうするかを考えた方が良い。規模に関して、予算もあると思いますけど、今の現状では厳しいと思いますので、削っていかないといけないことも出てくるとは思いますけど、そこを皆さんと考えていかないといけないと思います。

○事務局 ありがとうございます。中野さん。

○委員

はい、私も川添さんと同じような形で、元気！わどまりクラブもスポ少の町内交歓大会だったりとか、今年度は郡大会も本町で開催されたということで、その時も和泊小学校と和泊中学校で分かれての開催ということで、保護者の方がどちらを見れば良いのかということで、時間を見ながら、すごくせわしなく動いていたので、3面コートがあって1コートサブアリーナがあることで、運営のコスト面でも運営しやすくなると思います。

1試合しかない時は、サブアリーナを使ってもらって、2チーム以上が集まった時は、メインアリーナを使って場所を区切って使えるのでコスト面で出来ることなら、メインアリーナで3面、サブアリーナに1面にすると大会運営とかもスムーズにいくのかなと感じました。

○会長 ありがとうございます。新納さん。

○委員

すみません。決定的なことを聞きたいんですけど、両町の真ん中に造る選択肢はないですか。

○会長

予定地がここに上がっているということで、前回も話し合ったんですけど、地質調査も予算化されていて、まだ本決まりではないですけど、僕は、前回からの皆さんの思いを聞いた中で、多方面の方から見るということが大きいと思います。

どこの公共施設等も設備のメンテナンスだったりとか、掛かるお金をどういう風にして行政にかかりきりじゃないようにするか恐らくそういう規模で、皆さんに集まってもらっていると思っています。

資料にあるのは32億ぐらいで見積もりが上がってきて前回の説明ですと、倍以上掛かるであろうということで、先ほどコート面の数とか種目で使えることは、議論すべきではあるんですが要求規模で、現実に進めていけるのか運営の部分、予算の部分、今は教育委員会で予算を持っていると思いますが、どういった予算なのか交付金なのか、民間なのか企画課なのか、保健福祉課なのか、どういった予算が使えるのかを並行的に考えていく必要があると思います。

単体の予算では60億掛かるとして、単純に1億ずつ返済していても60年掛かるという単純計算になりますが、国から助成金を引っ張ってこれで良いものが出来れば、現実的な話が出来るとと思いますが、局長さんか町田さんにお伺いですが、アリーナの建設にあたって、予算を探していくってことは、できるのでしょうか。

○事務局

予算につきましては、まず予算ありきではなく青写真で、どういったものを計画しているのか、それをもって国とか県とかに、和泊町はこういった総合交流施設を造って、複合的な活動ができ避難所もあって、スポーツもできるって言ったものを、会の中で示した上で、私たちや町長が国会議員の先生方に示せるとこういった事業が使えますとなってくるので、国会議員の先生からは、先に交付金とかを言う前に、こちらでどういったものを描いてますかって聞かれたんです。

その時に、本県の事業なのか、脱炭素の事業なのか、これが当てはまるんじゃないかと、ヒントがもらえるんですよ。

今、和泊町が全額起債に当てるにしても相当な負担があり、起債自体も枠があります。和泊町では、交流施設だけではなく、新しい児童福祉施設を造る話もあるので、ここの借り入れだったりも枠があるので、総務課の財政係と相談しながらやっていくんですけど、シミュレーションも当然しております。

しているんですが、予算が30億って計上して今、財政が悪化してると言われていますが、

何年したら落ち着いてくるなどシミュレーションも合わせてしておりますが、取り急ぎ予算については、奄振交付金とかを当初考えられていたんですけど、いろんな事業を組み合わせでいけるのかどうか、調べているところです。

役場のように民間で建てられた PFI といって、いろんな会社が入って合資会社として管理もしておりますけれども、そういったやり方で体育館を造っていく方法もあります。

鹿児島県の総合体育館も PFI 的な事業で作っていくことが新聞に載っていましたが、県の流れも参考にしながら予算の獲得に動いていかないといけないなと思っております。

今、やらないといけないのは、規模もそうですが、資材が高騰していて、なかなか建設が難しいと思っておりますが、準備はしっかり進めていって、いつか高騰が落ち着いたら、すぐに国や県から補助金を貰って建設するためにも、この青写真というものを早いうちに作っていた方がタイムリーに申請できるんじゃないかと考えております。

○会長

実質、大会を運営してらっしゃる方、僕もスポーツ庁の事業だったりとか建設のガイドラインとかを見ている中で公共施設自体、どうやって運営していくのかということが、クローズアップされていて、郡民体育大会とか大きな大会のひとつではあるんですけども、それ以外で、どういった使い方をしていくのか、というのも議論していけると思っていて、建ってからの運営母体がどうなっているのか今、新納さんが関わっているような、ああいう施設自体と一緒に運営していけるような形をとれたりするとスポーツでの分野での収益とそれ以外のところでも島民が利用して、収益が出たところで施設自体、最低限運営出来るのかなと思っております。

それを人が少なくなってくる中、町単位でやるとか、どういう枠組みでやるのか、前田さんに加わっていただけているので、忌憚のない意見が聞けたりすると良いのかなあと思っております。

実際のところで、いろんなスポーツ大会が行われてたりすると思うんですけど、両町で人を借りたりすることがあるんですか。

場所がなかなかないので、運営も難しいと思うんですけど・・・

○委員

もちろん運営に協力してくれる人が、たくさん居れば助かるんですが、なかなかそういう方がいらっしゃらないので、午前中はここ、午後はここみたいな移動は正直あります。そこを何とか緩和したいですけど、なかなかうまくいかないです。

大島地区になりますと、和泊町は帯同審判を一人連れていきますが、隣の町は、なかなか審判だけで大島まで行くような人はいないので、罰金ではないですが、お金を納めて、他の審判を探してもらっている状況です。

スポ少ですと試合数が多いので、夏場ですと連チャンで試合の笛なんか吹けないです。審判の人数は多くないと運営は厳しいです。

○会長 よその大島とか他の島とかの運営はどうですか？

○委員

やっぱり散らばっていますよ。この間、天城でやった大会は開場が5会場あって、お互いで審判を出して、予選を5会場でやって決勝を1会場に集めて本部からその地区連盟から審判を出して、場合によっては大島から資格を持った先生やら指導者をよんで、試合をしているのが現状です。やっぱり移動する時間、雨が降ると特に大変です。

○会長 その辺の規模感の観客の人数はどれぐらいですか。

○委員

試合を応援する親だけです。試合するチームが代われば、応援する親も移動します。あまりチーム数は入らないです。

○事務局 今はですね。コロナで制限があるからですね。

○委員

けど、あまり人は入らない。太陽が丘が今一番良い施設ですけど、応援席があると、そこは試合するメンバー。

後ろのフロアがないので、応援席の上の通路（スペース）は、両側とは言いませんが、片方は絶対にスペースの幅が必要です。

特に2階から1階に繋がる階段側には、幅がないと移動(観客の入れ替え)が大変です。

○会長

見ている人たちは、試合している人の関係者の方で5, 60人ぐらいですか。コロナ前は、ピークの時はどうですか。

○委員 選手の倍です。30人とはいきませんが、20人ぐらいです。

○事務局

今は違いますけど、当時は前のチームが残ってたり、ずっと見てる人たちもいるので、そういう人たちもいます。

○委員

観客席があって、間が1 mぐらいあって、そのまま立って見える場所もあっても良いと思うんですよ。

観客席の最前列から席が並んでるのではなくて、立って観戦できる1 mぐらいのスペースがあると良いですね。

12月に沖縄の施設を見る機会があったんですが、スペースがあるところとないところでは、全然違いますね。

○事務局 因みに選手の控室はどうなっていますか。

○委員 観客席の階段の上の方を取ったり、選手は外ですね。

○事務局

今は、外がほとんど選手の控室、待機場所で使っている形で、試合になったら体育館内に入っていく感じです。

○委員

笠利でも選手は、無いですね。大人も子供も中学校も高校もないですね。控室ってプロクラスじゃないと、なかなかないと思いますよ。

学生の大会では、無いと思います。上の広さはやっぱり大事ですね。

○会長 室内競技で、一番観客が動員されるのってバレーですね。

○事務局

島でだったら、バレーですけど、それが沖縄ですとバスケットですね。バスケットが世界的にも競技人口が多いですが、永良部でしたらバレーですね。

○会長 この間行われた卓球と比べてどうですか？

○事務局

卓球を見に行っていないので、判らないですが南3島とそうとう来たらしいですね。

○事務局

卓球は和中の体育館に縦に6台、6台の12台出して、真ん中に通路を作る。その通路に保護者が入る。

今回は、南3島の中学生と社会人だけだったから、いけるんですけど、それでもけっこういっぱいだったんで、これが大島地区大会ともなると、もっと大人が増えるので年齢層も広いので、ギューギューな感じはありますね。

○委員 空調も考えないといけないわけですよ。

○事務局 当然空調は整備します。

○会長 バドミントンはどうやってるんですか。

○委員 試合と試合の合間に窓を開けたり……。試合中は開けないです。

○委員

鹿児島でも観客席の真下に風を向けて、上は涼しいけど、下は暑いって言ってましたよね。

○会長 しょうがないですよ。競技の性質上。

○事務局

空調も配管を通して、そこに水を流して壁からひんやりくる桜島体育館とか指宿体育館は、そうになっています。

冬は、そこに温水を通して温かいという空調もあり、鹿児島の場合は温泉があるので、それを有効活用しているんですけど、そういった空調もあります。

○委員

出来れば出入口は2階にも造ってもらえると、お客さんの出入りも楽になるんですけどね。

○事務局

そういった部分は今後調整できるので、まずはフロアをどうするのか、大きな部分から協議しましょう。観客席を何席にするのかはまだ後からで良くないですか。

○会長

気になったのが、活用された時、人を呼んでいかないと、おそらく（運営が）回っていかないじゃないですか、それをどうやってお金に換えるのか。

やっていく中で、どれだけ人を呼んで、どれだけ売り上げを作り出していくかが重要だと思います。

資料には、480 席と書いてあるんですけど、フラワーフェスティバルとかで動員はどれくらいですか。200 とかですか。

○委員

昔の体育館の時は、フロアと2階席で用意してましたが、400 ぐらいだったと思います。

○委員 ちょっと有名な人が来ると入りきれなかったですよ。

○委員 HYやビギンの時は入りきれなかったです。

○事務局 そういった人たちの時は、屋外を利用した方が良いと思います。

○委員

予定地なんですけど、城中のグラウンドを考えないでって聞いたんですけど、そうすると場所はないんじゃないですか。大きく建てれないんじゃないですか。

城中の下の畑がありますよね、あそこを買ってグラウンドにしたらダメなんですか。

○事務局

そういったアイデアを委員の皆様から頂きたいと思っております。

今、（ホワイトボードの前で）太さんがシミュレーションしておりますが、上で5000 m²の紙で町有地に当てはめていきますと、グラウンドに当てはめてみますと、グラウンドが使えなくなる。

町民グラウンドですので陸上や野球、ラグビー、サッカーの様々なスポーツに影響してきます。

なので、候補地ではあるんですが、一番、町有地で広いところが確保できるってことなので、しかし、どうしてもはみ出るところがあります。

校舎の上側の民有地を買ったら、少しは削られても陸上とかは出来るかなあと思います。

○委員

出来れば、グラウンドと体育館は近い方が良いですよ。総合グラウンドとなっているから、バラけるわけにはいかないじゃないですか。

○事務局

校舎の右側に若干、町有地があります。芝生のグラウンドと教員住宅が3軒あるんですが、そこに当て込んだら、こんな感じになりますが、これはまだ学校がまだ統廃合するわけでは

ないので、今後継続していくことを考えたら・・・

○委員 この計画に合わせて、統廃合は無理なんですか。

○事務局

無理じゃないです。前の答申の中でも統廃合についても協議って入っています。それをしていくには、城中の保護者、地域の方々には説明しないといけません。

この間、答申の後の住民説明会はしましたが、そこでは、その意見は出ませんでした。が、学校関係者と保護者関係者には、説明していく必要は十分あります。

○会長 これだけ先走ったら、城中の人達は「ええー」と思いますよね。

○委員 気持ちはわかりますが、中学校でも小学校でもきついでしょ。単体での活動は。

○会長 そうだと思います。

○委員

なぜ運動会を対抗戦にしないの。下級生と走っても何のメリットもないですよ。同級生と走るから応援のしがいもあると思うんですけど、なんでやらないのかよく判らない。

○事務局

それに近いのが、陸上記録会とか水泳記録会ってのがあるんですけど……。川添さんが言うのも理にかなってるとこもあって、小学校の統廃合につきましては、地域の方たちの声があって例えば、国頭小学校を和小と統合しますとなった時に、送迎とかいろいろメリットデメリットがあって、まだ地域の方たちから声がまだないと、で内城、大城は近い城中も近いので、一緒にしたらどうかという声もありますが、学校が特に小学校が地域にあることで、運動会など、様々な行事に地域の方たちがきて子どもたちも少なくなってくるので、地域の方たちが学校を支えていかないと成り立たないということを社会教育的に考えるとそうなるんですけど一番大事なのは、そこに進学する子どもたちが、本当にこのような小規模で良いのか、逆に小規模を望んでいるのか、そういったニーズもあります。

保護者の中には、こういった環境が望ましいから、ここに転校してきました。という移住者の方もいらっしゃるの、小学校の場合はそういったところも考慮しなければなりません。

例えば瀬戸内などは、小学校に5、6人でも廃校していないところもあります。

いろんな事情があるので、まずは小学校は置いといて、中学校が拠点となっていくわけですが和泊中学校が今160名ぐらい、冲高も卒業生が91名しかいませんでしたけど、普通科が

60 名と商業科が 30 名ぐらいです。沖高の生徒数と和小的の生徒数がほぼ一緒ぐらいと聞きました。

これはあまり比較になりませんが、将来的には小学校の統廃合も出てくるとは思います、中学校の統廃合ありきではなく今、どこに総合体育館が収まるのか、収まらないようであれば、学校の統廃合とかいうところも地域の方たちと話し合っていく必要があるのかなと思います。

○委員

それだけ人が減るという状況で過程は判りませんが、4 面必ず必要なのはどうかかなと思います。

いなくなる、少なくなるのが確実な状況で3 面とか4 面に固執するのはどうかかな、と思います。

4 面作って、その大島郡の試合が毎年、和泊町にはこういった施設があるので和泊町で開催しようってのは、可能なんですか。

○会長 必ずってことはないです。

○委員 大会が持ち回りになると、12 市町村・・・。

○委員 そんなにないですよ。バレーを取るところは、3 町か4 町ぐらいです。

○会長 出来ないところが増えてきてるんですね。

○委員

もちろん、施設がないから、大会の受入れに手を挙げないところもあります。今、体育大の女子バレー部が来島しておりますが、今日も夕方各学校に分散して指導もしてくれておりますが、和中の校長先生や顧問の先生方の理解があったから島に来てくれたんです。

もっとも体育館は平日使えないと来ないですよ。今回は学校側のOK がでたから、来てくれたんです。

受け入れの皿がないと野球とか他の競技もそうですけど、ちゃんとした施設があれば、受け入れる道は何とか探せると思うんですけど・・・

こんな田舎だから静かに合宿したいと上（本土）の方々はみんな思っているみたいです。先生方が言っていたのは、『気候的にも今のこの時期に T シャツ来て、汗たっぷりかいて、やれる場所はないんだよ。そこに感謝してやれ』って（子どもたちには）言っていたんですけど、我々は、その言葉を重く受け止めて、やらないといけないのかなぁと思います。

幸いにも今年は学校が受け入れてくれましたけど、来年はどうなるか判りませんよ。今年は、知名町の先生が学校を説得してくれたからやれたんですけどね。

規模の件ですけど新しく造るので、和泊町にはこういった施設があるとアピールできるものを造っていくべきだと思います。

（施設縮小の）理由を取り上げればいくらでも言えると思うんですよ。けど、施設が無ければ受入は出来ない。

○事務局

バレーだけで考えれば、大きすぎるかもしれないですけど、柔剣道場があそこはなかなか（予約が）取れない。

クラシックバレエや太極拳、わらんちゃもやってるし、いろんな団体が利用してるんですけど、あそこも老朽化してて、あと10年、15年使えるか判らない状態です。

あそこを利用している人たちが使える場所の確保も考えてやっていった方が良いと思います。

剣道も活動が出来てないし、レスリングも研修センターのホールにマットを敷いてやっている状態で、柔道もそのマットを使って活動しています。

ボクシングも場所を探しています。なので場所がなくてみんな困ってはいる。バレーコートが判りやすいので、バレーコートで何面という風に言ってますが、バレー連盟が月曜日から金曜日まで使うわけではなく、（大きく造れば）いろんな時間帯にいろんな団体が使えるんじゃないかなあと思います。

○委員

月曜日とか金曜日とかミニバレーも使いたいけど、予約が埋まってて使えないですもんね。

○事務局

そういったこともあって、みんなが気軽に使えるサブはあった方が良くないかなと思います。前の町民体育館ぐらいの広さのサブフロアをひとつ置いてたら、子どもたちも走り回れるし、いろんな人にとって使い勝手が良いと思います。

○会長

その方が用途は良いってことです。人の話で言うと、野球もサッカーもクラブチームで一つにしてから、練習などの際、保護者が送り迎えをしてもらって、（合同チームが）実際、増えてきてる感じがありますよね。

そこで考えると、さっき川添さんが言ってくれたんですけど下級生と走って、じゃあ何が子どもたちのためになる？てな話になると町体ですら、この秋に始まるんでしょうけども、

実質同じメンバー，年代で走るよりは知名町と混ぜながら規模を更に大きくしながら，やっていくという構想の基に，こういう施設を造った方がお互いにとってメリットはあるし，みたいなところを考えていくってのは，流れとしては自然であると思います。

沖永良部島チームとか，そんなチームが出来て動き始めてる時代で，それで和泊に行って練習したり知名に行って練習したりできますし，そこをせっかくこういう形で集まってるわけですから，運営する側のものなんですよ。

そこをどうやって，形作っていけるかだと予算も取りやすいんじゃないのかなあ，広域的な動きで手を打っていく方が。

永良部の某拠点施設も広域連携事業で取り入れている部分もあるので，そう考えていくと町有地の関係をもう一回洗い出してみながら島にとって良いものを作って，両町で運営していくみたいなのが，流れとして自然なのかなと思います。

僕は土地云々の話はしっくり分からないので仁志の方なのか，古里の方なのか，両方で利便性が良いところと予算の部分がどういう風にして分けるのか町が果たして連携できるのか，できないのか。

○事務局

場所については前協議会で，さんざん協議してきて，話し合ってきたので建物自体の価格がけっこう掛かるので，少しでも建築費用を浮かすためにも広い町有地を探したと島の真ん中に造れたら良いと思いますが，あの辺に大きな町有地がないということと笠石の周辺だったり，和小や和中の周辺だったり，タラソの周辺の話もありましたが，やっぱり塩害の被害，タラソもそうですけど，塩害で大変な思いをしているので出来るだけ内陸地，そして町有地が広くとれるところ，てことで城中周辺ってことになってるんです。

ここで，場所はこことして，また別の場所をとってくると，話が後退してしまうので・・・。

○委員

維持管理ですよ。大きいのを建てて維持管理が一番お金が掛かるんだから，塩害を考えた時は，内陸地が良い。使用者が入らなかったときは，100%ないですよ。

知名の体育館の横の武道館なんて1回しか使ったことがなかったという記憶しかない。間違いなく海岸端はない。

そうすると真ん中の方でなりますよね。知名との境界線って話は前の協議会でも挙がったのは確かですけど，用地買収がねえ。

○会長

ですね。規模自体，実質それだったらどれぐらい掛かって，それをどうするのかってとい

う議論も並行して動いていかないと、じゃあそれであきらめてしまうと、それより先の議論が出来なくなっちゃうので、そこを勉強しながら、すり合わせていけたらと思います。実質、総合的なものは、おそらく異論はないと思うんですよ。

子育てだったり、防災だったり健康増進だったり、そういうのはあるんですけど、そこと予算と島民を信用させるには、予算事務を同時に走らせていかないと、これでって言ったところで、ボンって出たらそれはもちろんお金掛かりますよねっていうところも出てくるんですけど、これが6割連携することによって可能なのかなというのもシミュレーションしてた方が良いのかなと思います。

○委員

場所、規模が決まらないと陳情はできないってのがあるので、私もその話は聞きました。だから、場所と規模をまず考えないと、我々が今話している時間が無駄になりますよ。それから、削ったり増やしたりして、今の時代ですから、駐車場は100%必要ですよ。

今は車社会ですから、真ん中に集めたら、あとは道路の整備をちょこっと考えるだけになるんで、それはまだ後の話ですけど・・・。

この会を1年なら1年以内にある程度形にするんだったら、一つひとつ足元のやつからクリアしていかないと、前の協議会からの繰り返しになりますよ。

○事務局

今の案としては、芝にドンと作って、土のグラウンドのところを桜島の運動公園のようにして使うのも有りと思うんですけど、そうすると城中のグラウンドの件も落ち着くんじゃないかなあと思っております。

統廃合したら、その跡地は、クラブハウスにするなど、いろいろ使い勝手が良くなってくると思いますけど・・・。

グラウンドはグラウンドで、複合的に使って体育館は体育館で複合的に利用出来たら、省スペースで使っていけるんじゃないかなあと思います。

芝の方は、サッカーの利用が多いですけど、サッカーは土のグラウンドでもできますし、芝じゃないとダメってわけじゃないので、どうかなあと事務局は、考えてます。

○委員 この規模に文化施設は、考える方が良いですか。

○事務局

文化の施設は、あしびの郷だったり、あかね文化ホールもあるので、そこを利用できるんじゃないかという話もあります。

○会長

ただ、最小限度は使えるようにしての方が良いんじゃないかなあと思いますけど・・・。
ゼロってのもなかなか、施設がある以上・・・難しいんじゃないかなあと思うし・・・。

○委員 結局、いろんなものを考えて建てたら、間違いなく予算はオーバーしますよね。

○委員

この協議の中でも、建設候補地について、建設規模についてとあって、まずはこの場所であってことで、落とし込んでいったらどうかと思いますが、私も川添さんと一緒に前のアリーナの会からですが、その時は22名いて今は2名ですが予定地案はいろいろ出しましたが、ここかなあということで答申したところです。

ですから、今回集まった皆さんで、こういった形で事務局からも予定地案を挙げてもらってますので、それで良いのか、どうかってのもありますけども、まずそこで考えて、そこから、どういう風にするかってのを考えていった方が良くと思うんですけども。

○会長 場所を今日で、決めちゃいますか。

○委員

現状、こうやって候補地として挙がっているの、せっきく事務局の町田君からもありましたがグラウンドをつぶすのは、もったいないですから純也君は野球専門ですし、総合交流施設ですから体育館を含めて、いろいろ肉付けしながら今後は考えていけたらいいのかなあと思います。

芝の方に造って駐車場をどうするか、いろいろあると思うんですけど、この予定地で良いのか、どうかってことですけど、皆さんどうですか。

○委員 ほかにこれだけの町有地はないんでしょ。

○事務局 和泊町にはないです。

○委員

あとは、前のアリーナの流れもあったんですけど、実際、和泊中学校区では、やすらぎ館とかの施設が、あるんですけど城中校区には、防災訓練施設がないんですよ。

町民グラウンドは、城中校区ですので、体育館造ることで、避難施設になります。内城、大城校区の避難施設になるので、そういうことも含めての、場所になっておりますので、そういうことを考えれば、ここに体育館があれば良いのかなあと思います。

○事務局

公共施設が和泊町には非常に多いのは、皆さんご存じだと思いますが、町営住宅からいろんな施設があって、広報誌で町長がシリーズで紹介しておりますが、今月が確かヤーシチ公園だったんですけど、やっぱり維持が大変なんですよ。

サンサンテレビも含めて、維持が大変なので、「皆さんも一緒に考えましょ」ってことで、広報誌に載せているので、マネージメントしていきましょってことで、社会体育施設は、体育館はありませんが町民グラウンドはあります。

その他に、笠石ドームという相撲場があって、あと和心館があり、あと弓道場、柔剣道場ってあるんですが、そういった施設がばらばらにあって、非常に管理がしづらい。

しかも、老朽化していて、1 か所ずつ補修していかないといけない。それを今やっているところですが、それが一極集中で、こういった施設が出来ると複合化出来ると管理も運営も一元化できるんじゃないかなあと思います。

そういったことも考えていく必要があると事務局では考えています。町民体育館や各種行事に使われる大きな道具とか例えば計時台とか、あぁいった物を保管しているところが限られているんですよ。

そういった倉庫も含めた今後、検討していただけないかなと思います。そのことによって、30 億以上かかってしまうかもしれませんが、あとのことを考えた時に運営的にも良いと考えているところです。

○委員

老朽化したところは補修じゃなくて、つぶして一極集中するような形をとりたいてことですか。

○事務局

この総合交流施設を造った暁には、しばらく施設は造ることができないと思うので今後、各市町村、さっき言った太陽が丘とか三義山とか儀名山とか、いろんな体育館が郡内にあるんですけど和泊町以外はみんな持っているんですけど、どこも老朽化し始めているんですよ。

そういったところは、どうするかと言ったら、大型改修しかないんですよ。新しく造るってのは、今の市町村では財政的に厳しいと思います。

知名の体育館もあと 15 年は何とか維持していくと聞いたことあるんですが、老朽化してます。

しかし、つぶして新しく造るってなると時期的にもっと金額が上がってくると思います。他の市町村も抱えている課題で、日本全国の自治体が施設の老朽化対策にお金が掛かるってことで、学校の校舎についても大型改修をしていくことで建て替えでなくこれから 80 年持つ建設をしていこうと考えておりますので造ってまた建て替えるってことは出来ないと考えて

た方が良いのかなと考えております。

どうせ造るのであれば、使い勝手の良い大きめの施設が良いのか、その辺を皆さんの方から意見を出していただきたいです。

2面で、予算を抑えて造ったは良いけど人口は減ってきますが、誘客でお客さんを呼んでも、ちょっと使い勝手が悪いよりは大は小を兼ねるじゃないですけど、ある程度コストは掛っても大きな施設があった方が、いろいろ使い勝手は良いのかなあという意見もありました。そういったことも、議論していただけたら良いのかなあと思ってます。

○委員 知名の体育館の指定管理をしている前田さん現状はどうですか。

○委員

体育館の管理から言えば、この施設が役場(町)で管理するのか、先ほど会長からもありましたが、どこかに管理を頼むのか、そうすると今挙がっている規模で管理が委託されたとき、管理として回るかどうか、広すぎると管理を委託されたところは、すごく人が必要になってくるので、いろんな大会があった時には集客が見込まれて、収益が上がってくると思うんですけど、日々の何もない時は管理コストが賄っていけないのかってところが不安なのと、候補地ですが今、芝のところに紙が貼られています、芝では小学生も中学生も高校生も社会人もみんなサッカーをやっているんですが、永良部から上の大会に出て行って人工芝だったり、天然芝で経験していると思うんですよ。

それで、土のところを広場にして子どもたちに「サッカーしましょう」となった時、子どもたちは納得するのかなあと思うんですよ。

で、次にどっか違うところにグラウンドをつていうのが次の議題に上がってくるんじゃないのかな。

今、ここに決め込んだ時に、別の土地にグラウンドを造ることになった場合のシミュレーションとかもあって、候補地が決まっていた方が良いと思います。

今は、体育館の建設ありきなもので、こう考えているんでしょうけど、じゃあ、ここの芝にしましょうってなった時に他の競技がそのグラウンドが使えるのかってところが不安です。同じように芝のグラウンドを作る時に、次の土地を探すってことで、同じように準備するのかなあってところが、疑問っていうか不安に思います。

基本的には、皆さん言われてるように、だんだん人口も少なくなってきましたけども、集客だったり、今の施設にないもので町民に来てもらうなら、バカでかいやつは要らないですけど、みんなが使える、スポーツだけじゃない施設ってのは、すごく大事なのかなって思っております。

場所が、規模ありきの場所じゃなくて、場所ありきの規模になっていないのかなあと思います。買収どうのこうのの話になるんですけど、次の施設ってなった時に同じような値が次に

掛かってくるんであったら前回の会が、どのように進んでいったか判らないんですけど、規模を決めて、そこにはまっていく場所ってのを考えていかないと、先ほど言っていたように、総合的に考えた時に、次欲しいねってなった時に別のところを買収しなければいけないので、そこがちょっと疑問です。

○会長 せっかくなので、泉さんから、今まで聞いた中で、場所も含めて何かないですか。

○委員

この施設を造るにおいて、マイナスの意見もあれば、賛成の意見もあると思うので、これだけ大きなアリーナを造るわけだから、仕方のないことですが芝に建てたら、サッカーの人が困るので、例えば土のところに芝のグラウンドを作ったりして、全員の意見を取り入れることは、絶対無理だと思うんですけど、いろんな意見がある中で、これは小規模で良いとか、そういうのは、話し合えばもっと良い方法が出てきて、逆に課題も出てくるとは思うんですけど、これだけ大きな施設を造るので、いろんな意見を出しながら、ちょっとでも反映させれたら良いなあと思います。

出来るのであれば、広くではなく上に建てていく、サブアリーナも2階にするとかして、上に造って如果能たら、芝もトラックも有効に使えるんじゃないかなあと思います。

○会長 ありがとうございます。次、西さん。

○委員

私は、まったくスポーツはしなくて、町民体育大会も1回も参加したこともなく、子どもも全然スポーツ系はしないので施設があったら、すごく使う人もいるんでしょうけど、私は、使わないなと思っていて、町の中には使わない人もいると思うので、その人たちが、どういうのを望んでいるのかとか、その辺のもし入れられたらいいのかなと思います。

今回、場所の話が出て、ここ有りきじゃなくて、とりあえず規模とか考えてみて、こういうのが現実的なところではないかっていうのを練ってみて、場所もいろいろ検討してみると、「こんな計画ですけど、どう思いますか」みたいな感じで、隣の町に聞くぐらいは、チャレンジしてみて良いかなと思います。

「いやよ」って言われる可能性が大ですけど、聞くだけ聞いても面白いと思います。脱炭素もいっしょにやっていますし・・・

○事務局

その話については、町長が当選した後に、打診をしてありまして、知名町には今、体育館があるので、今すぐには、建て替える予定はないと前の教育長から言われまして、議会でも

そう答弁してるんです。

今の町民体育館は、あと 15 年ぐらいは持たせるように維持管理をしていくという話でした。

両町で作ると町長も考えていたんですけど、今は考えてない状況です。一応、打診はしてあって、沖高の周辺はどうかなって話もあったんですけど知名の方は今、役場も建築していますし、体育館もあるってことで、「一緒に体育館を作りましょう」と時期的にタイミングが合わなかったのかなぁと思います。

こっちの体育館があと 10 年ぐらい残っていて、同じ時期に造るってことになれば、最高の話だったと思うんですけど、現状的には和泊町と知名町で、タイミングがちょっとずれていて、それがあって今回は和泊町だけで考えましょうってことになっているところです。

○委員

ちゃんとしたものを造って、和泊町も知名町も使えるぐらいのものを造ってたら、「文化施設はそっちで頑張ってください。体育施設は、頑張ります。」みたいなもの考えたら良いんじゃないですか。

○事務局

知名町には体育館もあって、あしびの郷という大きな文化施設があって和泊には、あかね文化ホールがありますが、ヤッコ大会とか大きなイベントは、あしびの郷を使うようにしています。

なので、知名町には文化の方は極力お願いして体育というかスポーツに関しては和泊町の施設をご利用くださいとして今後、両方で同じような施設を造るよりは、先ほど言っていたように両町で造った方が良いと意見がありましたが、なかなか意見が合わなかったりするのので片方にこの施設、片方にはこんな施設といったように連携していく方法もあるのかなと思います。

○委員

前回参加できなかったってのもあって、自分の耳でいろんな人のいろんな意見が聞けて良かったなと思いました。

ありがとうございました。縦に建てる意見とか良いなぁと思いました。

○事務局 知名の体育館のように駐車場を地下にする案もありました。

○委員

フリースペースを地下に造るってのは無いですか。当然下掘るでしょ。耐震構造を考えた

ら・・・

○委員 防災的には良さそうですね。

○事務局 地盤がどうかは、これから調査して判ります。

○委員 実際、知名の体育館って15年ぐらい持ちそうですか？

○委員 上はすごいでしょ。雨漏りもすごいでしょ。

○委員

雨漏りは全然無いですよ。上のはがれてるのは、断熱材がはがれてて、あれはメチャクチャ軽くはあるんですよ。

ただ、海端にあるんで、下が鉄骨なんですけど、それが錆びてきてて、湿気もすごいので、今後、フロアが捲れてきたりとか、なってくると思うんですよ。

そうになったら、15年は無理だと思います。張替えしてお金を掛けるぐらいだったら、床を全部剥いで、屋内練習場として活用できないかなあと思って町には提案してます。

人工芝でも敷いて開放した方がお金は掛からないで済まないですかねと提案してはいるんですけど・・・。

事務局

島ひとつとして考えれば、与論には体育館もあれば屋内練習場もある、永良部だけがそういった体育館が無くて、しかも屋内の練習場もないと、今みたいなアイディアっていうのは、今後生きてくるのかなあて気がします。

○委員

(島の)中央に造って、管理運営をお互いでやっていくって話で、すごく引っかかっていることがあります。お互いの出し分がいくらぐらいになっていくのかってところと、お互いで出し合って建てた後の維持管理コスト費はどうするのかってところが難しいのかなあと思います。

まず両町合併して、沖永良部でひとつの町を造りましょうってところすら、意見が合わないのに、そこでやるべきことなのかなって思います。

和泊町には、体育館がないので和泊町が作ります。先ほど局長が言ったように、体育施設は和泊町で文化施設は知名町でやってやりましょうって形だったら落としどころは良いのかなって思います。

真ん中にあったら、すごくイザコザがありそうで、特にお金の面が一番だと思うんで、「どこが出すのか」「どこが出すのか」って感じで、着地点が見えてこなくなると思います。

○会長 ありがとうございます。次に照泰さん。

○委員

やっぱり規模感。青写真をもって言われるんですけど、ここで出た意見に納得して進めても、（規模と場所を）同時進行で進めていかないと、土地をどうしよう、お金をどうしようってやっぱりお金の話が出てくるので、繰り返しになってると思うんです。

前回 60 億って話もあって、30 億でも良いんですけど、その額からいくらぐらいが補助金で賄えるのか、借金を 1 億ずつ返すとして、その 1 億の根拠とか町民はどれくらい負担しないといけないのか、事業するとして青写真がないと補助金を貰えないってところが、施設を造ることになっていて、これぐらいのお金が掛かります、って判っているのに、補助金がもらえないとか、例えば、こんなのを造りますって国会議員に持って行ったときに、これは対象になりませんかとかないのかなあって素人なのでよく判らないです。

事務局

60 億っていうのは、原材料の価格が高騰しているんで、個人的見解として、倍ぐらいに上がるんじゃないかという例えの話です。

国会議員に良い補助金のお願いに行った時に、じゃあどういった施設なのかとか説明を求められるんですよ。

こういうアリーナ施設ですと陳情に行ったところ、それってどういった具体的な建物なんですか、と聞かれたときに応えられなかったんです。

基本構想・基本計画に図面みたいなのがありますけど、これは決定をしているわけではないので、規模的には、中身にこういった施設があります、だったらこう言った事業が該当するよねって調べたりして教えてくれるんですよ。

もちろん、私たちもスポーツ庁の事業だったり、防衛省の事業だったり地方創生とか調査しますが、国会議員の先生たちっていうのは、力ありますので直接、省庁に行って、こういったのがあるけど、これはどこまで、補助の対象になるのか、そういった具体的なものまで、調べて教えてくれることがあるんですね。

しかし、施設の中身について、説明できないってこともあって、約 30 億ぐらいでバレーコート 3 面ぐらい、サブアリーナがあって観客が 200 名ぐらい入って、子育ても防災も兼ねてます、なおかつこうこうこうでと決定したときに初めて、これは防災の事業がいけますよとか、国交省の事業、防衛省の事業様々あるので、それを取りに行けることが可能になってくるって説明です。

お金を借りて、借金は返済していかないといけないんですけど、現金で和泊町に貯金があるわけじゃないので・・・。

一般の家庭で家を建てたりするときに金融機関でお金を借りたりすると、ほぼ 100%自分たちで返していかないといけないじゃないですか。

和泊町みたいな小さな自治体は、税収とかの収入が少ないので、国から地方交付税というのがあって、いろんな事業内容によって国から見返りというか、補助金みたいなものがあるんですよ。

それを借金返済に充てたりするので、100 万借りて丸々返すわけじゃないんですよ。そういったものが小さな自治体の借り入れの状態なので、それは今シミュレーションしてます。皆さんが気になっているのが予算だと思うので次回までに、そのシミュレーションを用意しておきます。

○委員

今の話を聞いていると、結局は規模をどうするかですよね。他にもっと良い場所があれば別ですけど、場所はある程度絞られたんじゃないかと思います。

規模は、他にどういうのを引っ付けて建物を造るかの話をここで進めておいて、そこから上の方に陳情していけば、何の事業に使えるかを聞けるんじゃないですかね。

だから我々がすることは、どれくらいの規模のやつを 2, 3 か所に絞って、形を造ることだと思うんですよ。

先が見えないのは、当たり前で、知名町の方でも使えるような体育館を造れただけなんですよ。

そうすれば、回転率が上がりますから、そこは一般の方からはしっかり使用料を取るようにして、子どもたちは育てないといけないので、でも場所がないとできないので、地元の子どもたちが試合をして、お父さん、お母さんやじいちゃん、ばあちゃんが上でゆっくり見れるような施設をどうにか形にして、造っていったらなあと考えてます。

○会長 ありがとうございます。

○委員

この施設は、町民だけが使う施設ではなくて、島民、郡民、県民、もしかしたら全国からもくる体育館だと思っていて、そういうのを考えておかないと、県の人達や字の皆さんに説明した時に、「こんな人口の少ない町で、何でこんな大きな施設を造るんだ」と言われると思うんですよ。

大きな体育館と先ほどありましたけど、笠利の太陽が丘とか三義山、伊仙の儀名山は、もう古いです。実際に太陽が丘などは上は雨漏りしていますから、和泊町がこういう施設を造

ることによって、注目を浴びます。

大きな大会もバレーだけでなく、バスケットもあるしバドミントンもあるし卓球もあるし、屋内競技に関しては、できた段階で、みんな和泊に集まってくるんじゃないかなと思っています。

それに合わせて、いろんな人が来るっていうのは、経済効果ってのは大きいと思いますので、予定地に関しては地質調査等もありますが、なかなか進んでないので僕はこの場所（町民グラウンド周辺）で良いと思ってますし、あとは、どの場所に施設を造っていくか、それを含めてグラウンド、芝生を残した形で地域、大島郡内、鹿児島県でも類のない総合施設を造ることによって、県内からいろんな方々が来られます。

合宿も、野球にしても、バレーにしても徳之島、奄美には来てます。2000 人も居ない宇検村にも大きな体育館もありますし、そこに全日本のバレーチームも来てます。

そういうこともできるわけですから、そういうのを構想の中でやっていかないと、ただ条件内で使う施設ではなくて、全体的なものを考えていかないとですね、できないと思います。案を国に持っていく中で、ただ体育館造りますだけじゃ、国もこちらの要求に応じてはくれないと思います。

将来的にこういったビジョンで持っていくかっていうのを出すことによって、いろんな補助金を活用できると思いますので、そういうのを考えていきながら、この会を進めていった方が良いのかなあと僕は思います。

○委員 教員住宅をつぶして、そこに造ったらどうですか。

○事務局 そういった話も事務局では出ております。

○委員 考えることはみんな一緒だと思いますよ。

○会長 グラウンドと芝は残した方が良いと思うんですよ。

○事務局

グラウンドに 400mトラックを取れたら、トラックの中に芝のグラウンドを造ったら、そこで陸上は出来るし、サッカーもできるし、グラウンドゴルフもできるし、利用価値が上がってくると思われます。

しかも、タータンに出来れば、合宿も呼べるといったようなことは事務局でも話をしております。

今の場所であれば、400mトラックがギリギリ入るか入らないかですが、出来るだけ私有地も購入しない方法を考えて、グラウンドも残すとなれば教員住宅のところに設置すること

で出来るのかという案も事務局では考えているところです。

芝でサッカーをしている子どもたちのことを判ってはいますので、このように利用を兼用するようにしたら、利用価値が高まるんじゃないかなあと思います。

○会長

白熱して 1 時間半が経ちますが、今日はいったい何が決まったのかなって感じですが、皆さん熱（思い）があるというのは伝わったので、前向きな意見も出たのかなと思います。

次回に向けて今の話をまとめて、少しでも前に進みたいです。僕からお願いしたいのは、知名町との連携が本当に無理なのか、財政の中でダメであれば、構想として按分できないのか確認してもらいたい。

僕も副会長もスケジュールを合わせますし、島内で建設した方が良いという意見は一定数あると思うんですよ。

そこを知名町に説明していくのを近いうちにしていけたらってのが一つと、僕も城中の卒業生なんで一抹の寂しさはあるので、城中の未来の部分と住民への説明の構想があるかどうか、10 年後今の出生から考えて、大城の人数、内城の人数、城中の人数がこれとして、この人数で、この建設を実行することができるかどうか、確認してもらえると、校区民に対しては良いのかなってのが一つ。

もう一つは、実質僕らがやっていかないといけないのは、規模だったり、何が必要かってのを決めていかないといけないので、図面はありますが、これを議論しやすいように 1 枚刷りの大きいものがあれば、議論がしやすいんじゃないかと思っていて、この 3 点お願いしたいと思います。

もちろん、委員の皆さんには重たい問題だと思うんですけど、周りのいろんな方々にヒアリングしていただいて、それを持ち寄れるようにしていただきたいと思います。

任期は、令和 6 年までとなっておりますので、そこを進めていくためには 1 個 1 個払いのけて、次の会に臨んでいけたら良いと思いますので、皆様にはヒアリングとどういったものを設置するのかしないのかみたいなのを議論する場があると進んでいくのかなと思いますので、そこをよろしくお願いします。

○事務局

是非、委員の皆さんも、いろんな声を吸い上げていただいて、こちらで発表していただければ、自分の意見とするのは、非常に重たいと思いますので、いろんな意見を集めていただいた方が、説明がしやすいと思います。

○会長

ここで、意見の中の会議じゃなくて、1 回で良いので副会長と僕と数名入れながら、どの

省庁のこういった補助金があるのかを精査して財政部分でも、こういった事業の予算がありますよとか周りから意見が貰えるのであれば、その会を持っていただければ構想が膨らんでいくのかなと思います。

○事務局

事業もなかなか厳しいものがありまして、PFI という事業のやり方も考えていきたいと思っています。次回はいつ頃にしますか。

事務局は新年度に入ってからを考えていますが……。4月の連休前はいかがかなと思っております。

○会長

では次回は、4月の12日水曜日の19時ってことでお願いします。
皆さんから何もなければ、会を締めたいと思います。

【閉会の挨拶】

○委員

皆さん、長い時間ありがとうございます。いろんな皆さん初めてのことで、私と川添さんは前からの引き続きなので、どういう流れか判ってたんですけど、皆さんにおかれましては、初めてのことで、どんなことを言って良いか判らなかったと思うますが実際ある程度、流れが判ったのかなと思います。

次回、4月12日ですね。1か月ちょっとありますので、資料を見ていただいて、自分なりの意見を出していただいた方が進むと思いますし、場所も私はここで良いと思っていますけども、事務局からここまで決めてほしいのを示していただければ、進めやすいと思いますので、その辺を準備していただけたらと思います。

長い時間でしたがありがとうございました。終わります。

3 閉 会